

唐津市立鬼塚中学校 学校だより

感動 感謝 思いやり

～関わり合い・支え合い・認め合う学校づくりをとおして～

令和5年 3月24日 発行 NO. 14
文責 校長 猿本 英隆

第76回卒業証書授与式を挙行了しました。



3月10日（金）、第76回卒業証書授与式を挙行了しました。今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、在校生、ご来賓の皆様方には参加をご遠慮いただき、規模を縮小した形での卒業式となりました。今年の卒業生は、緊急事態宣言下で入学し、3年間コロナ禍という厳しい環境にあり不安や残念な思いの連続だったと思います。しかし、最後の1年間は、工夫と対策をとりながら、様々な活動に取り組むことができました。中学生として、そして最上級生として、前向きに学校生活を送る姿や成長した姿には、本校職員一同大変喜びを感じています。保護者の皆様方には、子どもたちを支えていただくとともに、学校運営に対しご理解とご協力をいただいたことに感謝を申し上げます。式では、ご来賓を代表して江藤渉育友会長様にご臨席を賜り、激励のお言葉をいただきました。校長式辞では、卒業生に向けて、本校の学校目標である『感動・感謝・思いやりの心を胸に、勇気と希望を持って一步を踏み出して欲しい。』と、はなむけの言葉を贈りました。また、式歌では、保護者の皆様と向かい合う隊形で、卒業生の素晴らしい合唱を披露しました。



令和4年度修了式を行いました。4月からは新学年へ！

3月24日（金）、令和4年度修了式を行いました。1、2学期の始業式と終業式は、オンラインで行いましたが、1、2年生が一堂に会し1年間の総括をすることができ大変嬉しく思います。今年度は、工夫と対策をとりながら、様々な活動に取り組むことができた1年間でした。1、2年生ともに、4月当初と比較するとすばらしい成長を遂げ、生徒たちのたくましさには驚かされました。

式の中で、2年生・1年生それぞれが、確かな足取りで成長をしていることを評価し、4月から2年生は最高学年となり、鬼塚中の看板を背負っていくことになることと、自分自身の進路目標達成に向けて重要な1年になる。1年生は、後輩の良き手本となり、自分自身を確立していくための大事な1年になる。と激励しました。また、「感動 感謝 思いやり」の心を大切にし、先輩・同級生・後輩さらには先生方や地域の方々との関わりを大切にし、自分自身を磨き、希望をもって、自分の歩みを進めてほしいと願っていることを伝えました。

今後も学校・家庭・地域が一丸となって、子ども達の健やかな成長を願い、誠心誠意、教育活動に邁進していきたいと思っておりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。この1年間、保護者の皆様方や地域の皆様方の温かい声かけと支えに感謝いたします。ありがとうございました。

令和5年度から成績2期制を導入します。

成績2期制とは、学期についてはこれまで同様の3学期制で、通知表の配布が現行の3回から2回に変更するものです。詳細については3月23日に配布した『成績2期制について（お知らせ）』の便りをご覧ください。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。